

## 第3学年 国語科学習指導案

場所 3年教室  
指導者 教諭 林田 禎子

- 1 単元名 せつめいのくふうについて話し合おう 「すがたをかえる大豆」  
れいをあげてせつめいしよう 「食べ物のひみつを教えます」 (光村図書3年)

### 2 単元について

#### (1) 本単元のねらい

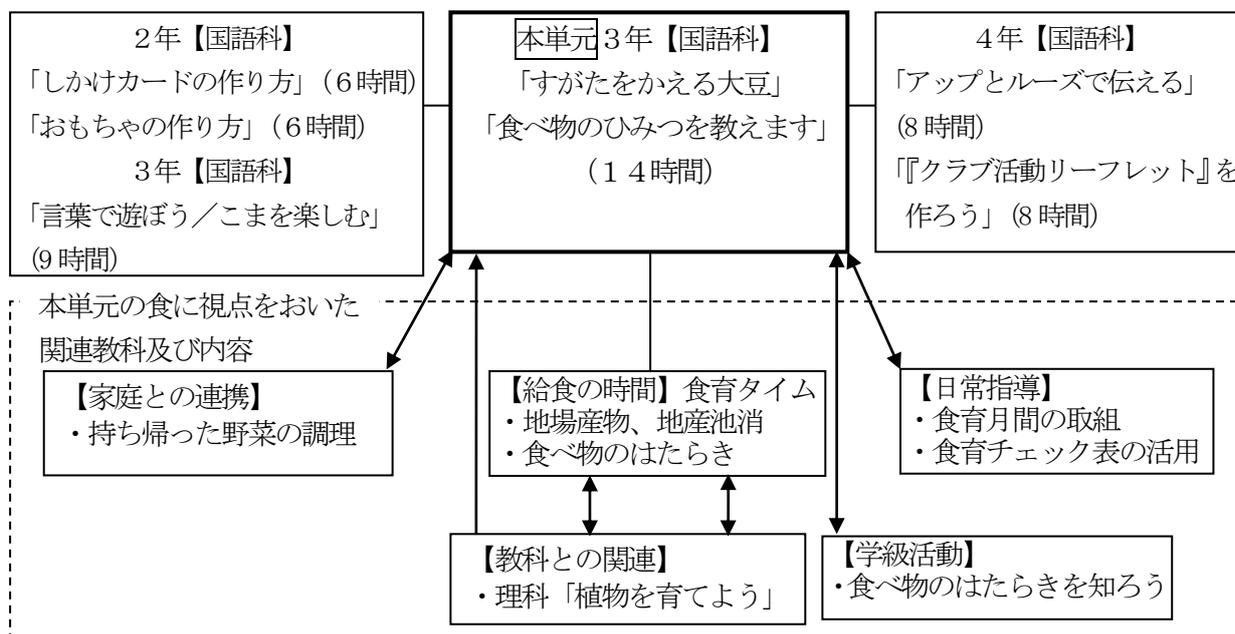
本単元は、学習指導要領の内容B書くこと(1)(イ文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。ウ書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。)及びC読むこと(1)(イ目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。エ目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。)で設定された単元である。

読むことの教材「すがたをかえる大豆」は、書くことの教材「食べ物のひみつを教えます」で興味をもった食材について集めた情報を文章にまとめる方法を学ぶ教材となっている。

「食べ物のひみつを教えます」は、「すがたをかえる大豆」で読み取った説明の工夫を使って、具体的な材料をもとに、実際に自分で分かりやすく説明する文章を書くことをねらいとしている。自分が選んだ材料について情報を収集したり、前単元で学んだ分かりやすい説明の仕方を生かして書いたりすることができるため、単元を通して意欲的に学習を進められる内容になっている。

「すがたをかえる大豆」は、普段からよく食べている食品が大豆でできていたという驚きや新しいことを知りながら論理的に読み進められる内容となっている。そのため、説明の中心となる語や文を見つけたり、説明の工夫に気付いたりするのに適した教材である。

#### (2) 本単元に関わる系統及び食に視点をおいた関連教科等は次のとおりである。



(3) 児童の実態 (12人)

		(人)			
		とても	概ね	あまり	
児童の実態	国語科に関する	質問事項			
		順序を表す言葉に着目して、段落を並び替えることができる。	11	1	0
		段落の中心となる言葉を見つけることができる。	5	3	4
		題材に関して適当な例を集め、情報を分類することができる。	2	10	0
		報告の型に沿って、句読点や段落を適切に表記して文章を書くことができる。	4	4	4
児童の実態	食育に関する	【食文化】 食べ物のことをもっと知りたいと思う。	6	4	2
		【食文化】 どんな食品が使われているか、見たり考えたりして食べている。	2	6	4
		【感謝の心】 食品を作っている人に感謝の気持ちをもって食べている。	7	5	0

これまでの学習の様子やアンケートの結果から、順序を表す言葉に着目して、段落を並び替えることはできるが、段落の中心となる語や文を見つけることができているとは言えない。また、情報を集めて、題材に適した事例に分類することはできるが、報告の型に沿って文章を書くことに支援が必要な児童がいる。

食育に関しては、食品を作っている人に対して、感謝の気持ちを全員もつことができているが、どんな食品が使われているのか、食べ物についてもっと知りたいという意欲が低い児童がいる。

(4) 本校の研究における指導に関して

視点1… 子どもが食について考え、自分の生活を見つめることができる授業づくりや日常における指導と意図的な体験活動の設定

ア 給食の時間の食育タイムを通して、季節や行事にちなんだ料理があることを知るとともに、国語の学習で食べ物（食材）が加工され、さまざまな食品に変えられて身近な「食」としてあることに興味・関心をもち、図書資料等で調べたり聞き取ったりする活動を通して、「食」への意識を高める。【食文化】

イ かたい大豆が食べにくく消化がよくないために、昔からおいしく食べられてきた工夫や食品の種類を調べる活動を通して、先人や食品生産者の方々に感謝する心情を育てる。【感謝の心】

視点2… 学校での学びを家庭や地域で生かすことのできる場の設定の工夫

ア 「すがたをかえる〇〇」作成という単元のゴールを設定することで、給食や家庭での食事を意識しながら見たり食べたりして、身近な食べ物がすがたをかえていることを実感させる。【食文化】

(5) 指導上の留意点

○自分が興味・関心のある食べ物のひみつについて、教材文の説明の仕方の工夫を参考にして文章を書くために、目的に応じて、中心となる語や文を捉えて段落相互の関係を考え、文章を読む力を身に付けさせる。

〈人権教育の視点より〉

- みんなが気持ちよく安心して学習をするために、ルールやきまりがあることや、その大切さを理解させる。
- 児童が、教材文の読みや筆者の考えの理解を通して、自分の考えをもち、自分なりの文章にまとめたりお互いを理解し合ったりすることができるように、友達と考えを共有する場を設定する。
- 児童が、自分と友達の考えの違いに気付き受け止め、自分の考えを伝えることができるように、最後まで聞き合う態度と雰囲気づくりを行う。

### 3 単元の指導目標と評価規準

#### (1) 単元の指導目標

- すがたをかえる食べ物に関心をもち、文章構成を理解しながら読んだり、それを生かして「すがたをかえる○○」を書いたり伝えようとする。(関心・意欲・態度)
- 中心となる語や文を捉え、段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に読むことができる。(読む能力)
- 目的に適した事例を複数挙げながら、説明する文章を書くことができる。(書く能力)
- 接続語には、文と文との意味のつながりに果たす役割があることを理解し、使うことができる。(言語についての知識・理解)

#### (2) 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語についての 知識・理解
○文章の内容に関心をもち、文章構成を理解しながら読もうとしている。 ○食べ物について関心をもち、調べて分かったことを説明しようとしている。	○中心となる語や文を捉え、段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に読んでいる。	○調べたことをもとに、事例を挙げながら段落相互の关系到注意して説明する文章を書いている。	段落相互の関係を示す手がかりとしての接続語の果たす役割を理解し、読んだり書いたりする際に用いている。



	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>「食べ物のひみつを教えませす」を読み、活動のゴールを確かめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作例を読むことで、書く学習への意欲をもたせる。</li> <li>図書資料を提示して、調べやすくする。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>食べ物に関心を持ち、調べようとしている。</li> </ul> <ノート・発言>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常食べている食品や料理の名前や姿を知ること。</li> </ul> <b>【食文化】</b>
	8 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が選んだ食材が、どのようにすがたをかえるのかを調べ、情報カードにまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報カードは、例を示して、食べる工夫と食品名を書くようにする。</li> </ul>		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>分かったことから、情報を選んでカードにまとめている。</li> </ul> <情報カード>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常食べている食品や料理の名前や姿を知ること。</li> </ul> <b>【食文化】</b>
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報カードの選択・並べ替えをして、「中」の文章の下書きを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「分かりやすく書くためのポイント」を掲示する。</li> </ul>		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>分かりやすく説明する文章の工夫をふまえて、例を選び、「中」を書いている。</li> </ul> <シート>	
2	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>「はじめ」「終わり」を書き、下書きを完成させる。</li> <li>書いた文章を読み合い、より分かりやすい説明にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字や文字が正しく使われているか、句読点、段落、接続語は適切か、などの読み合うときの確認ポイントを提示する。</li> </ul>		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>互いに助言し合ったり、分かりやすい説明の仕方に気付いたりしている。</li> </ul> <シート>	
	12 13	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品の絵を書いて、文章全体を清書する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読んでもらうことを意識して、丁寧な字で書くように声をかける。</li> </ul>		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>助言してもらったことを活かして清書している。</li> </ul> <シート>	
	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>「すがたをかえる○○」をお互いに読み合う。</li> <li>学習を振り返り、今後、どのように活かしていくかを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読んで感想を伝え合い、よさに気付かせる。</li> <li>振り返ることで、学びの定着の確かめと達成感を味わわせる。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>分かりやすく説明するための工夫について、学習したことをまとめ、これからの生活にどう活かすかを考えている。</li> </ul> <ノート・発言>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品の種類やおいしく食べる工夫について知り、感謝する。</li> </ul> <b>【感謝の心】</b>

5 本時の学習

- (1) 目標 すがたをかえている食べ物を書き出して、発見したことを発表することができる。  
(関心・意欲・態度)

(2) 展開

過程	学習活動	指導上の留意点および評価
導入 (10)	<p>1 すがたをかえる身の回りの食べ物について考える。 (1) 給食に使われているすがたをかえている食べ物について知る。 (2) すがたをかえている身近な食べ物を思い出す。</p> <p>私たちが食べているものには、すがたをかえているものがあります。米・肉・魚(材料)から何にすがたをかえていますか。</p> 	<p><b>【学校給食との関連】</b> 給食に使われているすがたをかえている食べ物について、栄養教諭がビデオで解説する。</p> <p>○栄養教諭から給食に使われているすがたをかえている食べ物の紹介を行う。</p>
展開 (30)	<p>2 食べ物の変身について知っていることを書き出して、発見したことについて発表する。</p> <p>食べ物のへんしんについて知っていることを、みんなに知らせよう。</p> <p>(1) 食べ物の変身について知っていることを書き出す。 (2) 書き出してみんなに知らせたいことを発表する。</p> <p>食べ物を書いてわかったことや、他の班に教えたいことを発表しましょう。</p> <p>米からたくさん変身している食べ物があることを発見しました。</p> <p>3 気付いたことを整理する。</p> <p>すがたをかえている食べ物が、たくさんありました。すがたをかえている食べ物を毎日食べていると思いました。</p>  	<p><b>【家庭とのつながり】</b> 日常食べている食品を思い出す。</p> <p><b>能動型学習(ポイント)</b> ○食べ物の変身について知っていることをイメージマップに書き表す。</p> <p><b>評価(関心・意欲・態度)</b> 食べ物を書き出して、発見したことを発表することができる。(シート・発言)【B基準に達しない児童への支援】書き出した食べ物を見直したり、友達の発言を聞いたりして参考にさせる。</p> <p>○「すがたを変える〇〇づくり」に向けて、変身している食べ物について調べる活動に繋がられるようにする。</p>
整理 (5)	<p>4 本時を振り返り、次時の活動について知る。 (1) 振り返り</p> <p>他にもどのような食べ物が、どんなふうに変身しているか知りたくなりました。</p>  <p>(2) 次時の活動について</p> <p>「すがたをかえる〇〇」は、図書館に置いて読んでもらおうと思います。そして、来年の3年生の見本にできたらと思います。 変身している食品についての説明文を書くために、「すがたをかえる大豆」を読んで学習しましょう。</p> 	<p><b>徹底指導(ポイント)</b> ○すがたをかえる食材についての図書資料を紹介して、「すがたをかえる〇〇」作りのために並行読書をしていくことを知らせる。</p>